

まちづくり活動や人材育成を支援

まちづくりのための取り組みや地域課題解決のための活動を支援する「まち・未来創造支援事業」と、まちづくりを担う人材育成を支援する「明日をひらく人づくり事業」の対象となる市民活動団体やまちづくり団体等が行う市民活動などを募集します。

まち・未来創造支援事業

○まちづくり活動（スタートアップ）支援事業

▼対象 新たな公益的活動



まち・未来創造支援事業の一例「第5回ツール・ド・いわき2018」

を始めようとする団体の事業

▼補助額 補助対象経費の5分の4以内（上限20万円、助成は3回まで）

○まちづくり活動（ソフト）支援事業

▼対象 地域の課題解決のために行う市民活動

▼補助額 補助対象経費の3分の2以内（上限百万円、助成は3回まで）

○まちづくり活動（ハード）支援事業

▼対象 地域資源を活用した整備事業

▼補助額 補助対象経費の4分の3以内（上限50万円、助成は1回）

○まちづくり活動（グレイドアップ）支援事業

▼対象 実績のある事業をさらに拡充・発展させ、各種団体から賛同・協力を得ながら企画・運営する事業

▼補助額 補助対象経費の2分の1以内（上限50万円、助成は3回まで）

○NPO法人設立支援事業

▼対象 NPO法人格の認定手続きに係る活動や、会員獲得などに向けた広報活動

▼補助額 補助対象経費の5分の4以内（上限20万円、助成は1回）

明日をひらく人づくり事業

▼対象 ①将来のまちづく

カニサレス・フラメンコ・クインテットを実施

9月16日、アリオス10周年記念およびスペイン・日本外交関係樹立150周年事業として、宝くじの助成（コミュニティ助成事業）を受け、カニサレス・フラメンコ・クインテットを実施しました。

コミュニティ助成事業は、宝くじの受託事業収入を財源とし、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上に寄与することを目的に実施されています。



音楽とフラメンコで観客を魅了



「地域学校協働活動」推進に係る文部科学大臣表彰

▷田人小・中学校（田人町黒田）
地域の特産物の栽培や林業体験など、学校・家庭・地域パートナーシップ推進事業における取り組みが、他の模範となる「地域学校協働活動」として表彰されました。

支所、中央台・泉市民サービスセンターに事前相談の上、申請書など（同課または市ホームページから入手可）を提出
▼申込期限 2月28日（木）

○お問い合わせ
地域振興課地域振興係
☎22・7414

地名の中の「いわき」

「塩」が付く地名

市内には「塩」が付けられた字名が広く点在しており、いくつかの由来が考えられます。

一つは、海の塩に由来するもので、塩場（平豊間）、塩民（久之浜町末続）が挙げられます。もう一つは、たわむという意味の「シラ」に由来するもので、川の谷間のようなたわんだ地形になっている場所を指します。

地名には、地域の歴史を知るヒントが隠されています。市内各所の地名にまつわる由来などを紹介し「いわき」の歴史をひもときます。

このような地形は各地にみられるため、沿岸部に限らず、塩田（平上高久、小名浜岡小名、川部町）、塩沢（山田町、小川町塩田）、塩畑（遠野町瀧）、塩ノ塚（遠野町上根本）、塩ノ平・塩ノ本（田人町黒田）と、山間部を含めた広い範囲にわたって点在しています。

また、四倉町には仁井田川に沿って塩木という地名があります。地元の耕田寺に伝わる文献によると、永正年間（一五〇四年～一五二一年）に大津波があつて付近の民家が流失し、さらに、天文年間（一五三二年～一五五五年）にも同様の被害に遭い、潮による災害を受けたことから「塩来」と名付けられ、その後「塩木」に転用したといえます。

このように、災害を由来として地名を付すことがあります。縁起が悪い地名は、時代を経て表記を変えて伝えられることもよくあります。

（いわき地域学會 小宅幸一）

※いわき市内の昔の写真をお持ちで、提供いただける方は、ふるさと発信課（☎22・7503）までご連絡ください。

こんにちは市長室から ③9



第10回いわきサンシャインマラソン

いわき市長 清水 敏 男

平成31年がスタートしました。先月号の年頭のことばでもお伝えしましたが、本年は本市の魅力を市内外に発信するため、ブランドメッセージとして「フラシティいわき」を前面に押し出して、シティセールスを推進していくとともに「いわき市健康元年」と位置付け、市民の皆さんの健康指標の改善と健康長寿都市の実現を目指してまいります。

そのような中、今月10日にいわきサンシャ

インマラソンが開催されます。回を重ねて今回で第10回を迎えました。思い返すと、本市でマラソン大会の構想が出された際、福島県議会の福祉公安委員長であった私は、当時の櫛田市長から大会コースとして幹線道路使用の要請を受け、県や警察本部との交渉に携わったことがありました。

今や、この大会は本市を代表するスポーツイベントとなり、エントリーは市内外から1万人を超え、全国のマラソン大会のランキングでも常にベスト10に入る人気の大会へと成長しました。今回は節目の大会でもあり、谷口浩美さんや、柏原竜二さん、安田美沙子さんをゲストランナーに迎え、多くの市民ボランティアのご協力をいただきながら、さらに盛り上げていきたいと思ひます。



四倉町塩木と海岸の位置関係【1：50,000地形図（平成19年修正）】